

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・ PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

非調節型ロープ製ランヤード



1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPEに対して生じた特殊な状況を記録する

(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00 000 AA 0000

製造年
製造日
検査担当
識別番号

コード B:

00 A 0000000 000

製造年
製造月
製造番号
識別番号

耐用年数を超えていないことを確認してください。

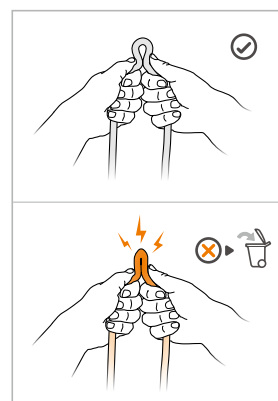
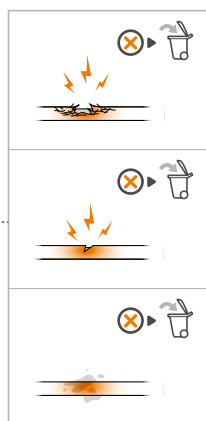
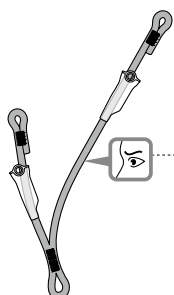
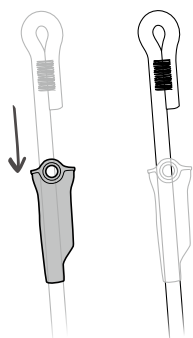
新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

3. ロープの状態の確認

- ・ ランヤードの末端からコネクタを外してください。保護スリーブで覆われている箇所を点検するためにずらしてください。

- ・ 外皮に使用による摩耗や損傷 (切れ目、毛羽立ち、化学製品との接触による損傷等) がないことを確認してください。

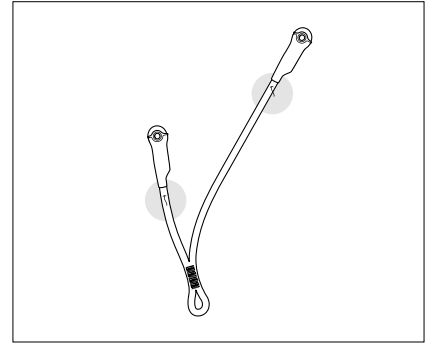
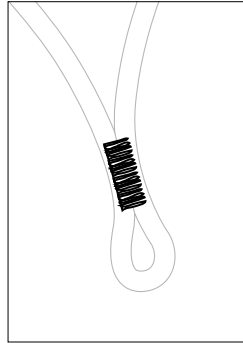
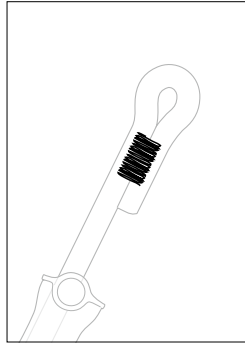
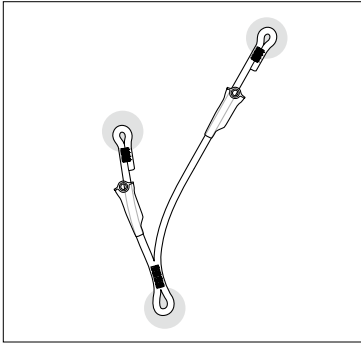
- ・ ロープ全体を手に通し、芯の状態 (かたい箇所、膨張、柔らかいまたは潰れた箇所等) を点検してください。



・ハーネスアタッチメントホールおよびランヤードの末端のロープの状態を確認してください。

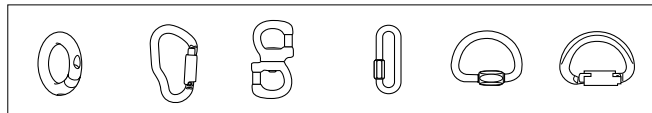
・安全に関わる縫製の状態を両側について確認してください。繊維糸にゆりみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。

フォールインジケータが外側に出ていることを確認してください (『プログレス』のみ)。



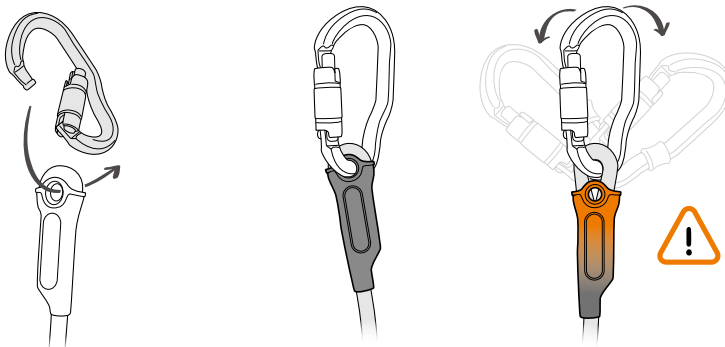
4.コネクターの状態の確認

・コネクターの点検については、そのモデルの点検フォームを [Petzl.com](https://www.petzl.com) から参照してください。



5.コネクターの再取り付け

・コネク터를再度取り付けてください。プラスチック製保護スリーブがコネク터를適切な位置に維持していることを確認してください。。



6.補足情報: 点検中に確認すべき一般的な症状の例

・塗料の付着痕



・塗料の付着痕



・切れ目



・プラスチック製保護スリーブの損傷



・フォールインジケータ



・フォールインジケータ



・化学物質と接触した痕跡

